

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【公開番号】特開2012-58177(P2012-58177A)

【公開日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-204144(P2010-204144)

【国際特許分類】

G 0 1 J 3/04 (2006.01)

G 0 1 J 3/46 (2006.01)

G 0 1 J 3/36 (2006.01)

【F I】

G 0 1 J 3/04

G 0 1 J 3/46 Z

G 0 1 J 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光照射手段から読み取り対象物に照射された光の反射光を取り込む、複数の開口部で構成されるホールアレイと、

前記ホールアレイに取り込まれた反射光を結像する結像手段と、

前記結像手段に結像された反射光を回折する回折手段と、

前記回折手段によって回折された反射光を取得する受光手段と、を含む分光特性取得装置であって、

前記ホールアレイを構成する前記複数の開口部は、形状が異なっていることを特徴とする分光特性取得装置。

【請求項2】

前記ホールアレイを構成する前記複数の開口部は、前記結像手段によって前記受光手段上に結像される像の像高に応じて、形状が異なっていることを特徴とする請求項1記載の分光特性取得装置。

【請求項3】

前記受光手段は、複数の分光センサが配列された分光センサアレイを構成することを特徴とする請求項1又は2記載の分光特性取得装置。

【請求項4】

前記分光センサは、互いに分光特性の異なる光を受光する所定の数の画素を有することを特徴とする請求項3記載の分光特性取得装置。

【請求項5】

前記複数の開口部は、前記ホールアレイの所定位置を中心に端部へ向かうに従い、前記複数の開口部が配列する配列方向と直交する方向の長さが長くなっていることを特徴とする請求項1乃至4の何れか一項記載の分光特性取得装置。

【請求項6】

前記複数の開口部は、前記ホールアレイの所定位置を中心に端部へ向かうに従い、前

記複数個の開口部が配列する配列方向の幅が狭くなっていることを特徴とする請求項1乃至5の何れか一項記載の分光特性取得装置。

【請求項7】

前記所定位置は、前記結像手段の光軸中心に対してずれた位置であることを特徴とする請求項6記載の分光特性取得装置。

【請求項8】

画像担持媒体上に複数色で形成された画像の色を評価する画像評価装置であって、請求項1乃至7の何れか一項記載の分光特性取得装置と、前記画像担持媒体を搬送する搬送手段と、前記分光特性取得装置が取得した分光特性に基づいて、前記画像の色を評価する画像評価手段と、を有する画像評価装置。

【請求項9】

請求項8記載の画像評価装置を搭載した画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本分光特性取得装置は、光照射手段から読み取り対象物に照射された光の反射光を取り込む、複数個の開口部で構成されるホールアレイと、前記ホールアレイに取り込まれた反射光を結像する結像手段と、前記結像手段に結像された反射光を回折する回折手段と、前記回折手段によって回折された反射光を取得する受光手段と、を含む分光特性取得装置であって、前記ホールアレイを構成する前記複数個の開口部は、形状が異なっていることを要件とする。